



地質館だより



地質館で展示しているセコイアの化石。直径 1.5m ほどはあります。

地層と年輪

12月は、土が霜に覆われ、木々が葉を落とし、自然が静まり返る季節です。この時期、私たちは時間の中で積み重ねてきたものに思いを馳せます。地質館で働いていると、地層や年輪が、そうした積み重ねの象徴に思えてきます。

佐川町には何億年もかけて積み重なった地層が並んでいますが、地質館で展示されている 4000 万年前のセコイアの化石にも、年輪がはっきりと残っています。この年輪には、失われた太古の森林が広がっていた記録が刻まれています。その時代、この木も何百年と生き抜き、ゆっくり幹を太くしていきました。こうした植物化石に残る年輪は、私たちに二重の意味で悠久の時間の重みを感じさせてくれます。

12月は、こうした自然の「層」を感じ直す時期です。佐川の地層もセコイアの化石の年輪も、目の前の自然が語る「時間の重み」を思い出させてくれます。年末の静かな時間の中で、積み重ねていくことの大切さをかみしめながら、新しい年への一歩を踏み出していけたらと思います。

12月の地質館イベント

12月22日(日) 12:00~ & 15:00~ (10分程度) 展示解説「セコイアの化石とメタセコイアの木」
地質館にあるセコイアの化石(珪化木)と、生きている化石メタセコイアについて解説します。



佐川町立 桜座

佐川町甲346番地1 ☎0889-22-7878 休館日:月曜



12月21日アンパンマン映画上映会

お待ちしております！毎年恒例、アンパンマン映画上映♪
10時と14時の計2回上映します。詳細は下記をご覧ください。

映画それいけ!アンパンマン「ばいきんまんとえほんのルルン」

- 日 時 令和6年12月21日(土) ①10:00 ②14:00
開場は上映時間の30分前
- 料 金 親 子 1,500円(当日2,000円)
一 般 1,000円(当日1,300円)
中学生以下 700円(当日1,000円)
*2歳未満児抱っこの場合無料

〈チケット販売所〉桜座, サンシャイン佐川店, マルナカ佐川店,
ローソンチケット(Lコード62212)
お近くにチケット販売所がない場合は、上映前日まで電話予約も承っております。
(桜座 22-7878)



12月22日(日) 第8回桜座ロビーコンサート 開場12時30分 開演13時

出演者13組が決定しました！観覧無料です。詳細はチラシをご覧ください。みなさまのご来場をお待ちしております。

青山文庫だより

資料群・川田文庫の変遷

いよいよ新しい町立図書館「さく」とがオープンします。さくとは、川田文庫と称されている資料群のちほど収蔵される予定です。

「川田文庫」という言葉は、川田豊太郎が創設した図書館の名前でもあり、佐川の図書館で長い年月をかけて蓄積された資料群(一万冊を超える本や郷土資料など)を指す言葉でもあります。

資料群としての川田文庫がどのように受け継がれてきたか、その変遷をたどると、川田文庫→青山文庫→佐川文庫→町立図書館→教育委員会となります。

明治43(1910)年に創設された川田文庫は、高知県初の私設図書館にあたります。高知県立図書館の前身である書籍館が明治12(1879)年に高知城の懐徳館内に設置されていましたが、高知県内では図書館が珍しい時代でした。
その後、佐川出身の元宮内大臣・田中光頭が大規模な寄附を行ったことをきっかけに、より本格的な図書館活動を行うために、個人運営を法人運営に切り替え、大正14(1925)年に川田文庫が青山文庫となります。
その後、江戸時代の隆盛から下降気味であった佐川の復興策の一つとして青山文庫の充実に図られ、図書館としてだけでなく博物館としても発展していきま

しかし、大支援者・田中光頭の死や、第二次世界大戦の前後で日本社会が大きく変化したことにより、戦後は「青山文庫は貴重な資料を死蔵している」と町民に揶揄されるほど、活動が停滞してしまっています。その打開策として、青山文庫を県立図書館の分館にしようという案や、県立博物館を誘致しそこに貴重資料を預ける案などが出されたそうです。

結果的に、田中光頭が寄附した書籍と貴重資料のみを青山文庫から分離させ、昭和38(1963)年に創設された高知県立郷土文化会館分館青山文庫に納められます。これが現在の当館の前身です。この時点で、2つの青山文庫が存在するようになりますので、古くから佐川に在る図書館・青山文庫を旧青山文庫と称します。
田中光頭寄附資料が他へ移ったとはいえ、旧青山文庫には、川田文庫から受け継ぎ、青山文庫としても充実してきた豊富な書籍や、それまで蓄積してきた郷土資料がそのまま残っています(これが資料群・川田文庫です)。これらの資料も貴重であることにかわりありませんので、昭和43(1968)年、町の補助金を得て再び図書館として活動をはじめますが、県立博物館も青山文庫ですので、区別するために、旧青山文庫が佐川文庫と改名します。

その後、昭和53(1978)年に町立図書館が新設されると、佐川文庫が所蔵する資料群は町立図書館に引き継がれますが、平成10(1998)年に町立図書館が富士見町に移転した際に、資料群・川田文庫は文化センターに残され、貴重資料として教育委員会が保管するようになります。

資料群・川田文庫の変遷を振り返ると、町立図書館と当館は元々一体であったといえます。そして、この歴史そのものが「文教のまち佐川」を体現しているともいえるのではないのでしょうか。(青山文庫 藤田有紀)

〈展示案内〉

○企画展「川田文庫の世界」

○企画展「復刻版 維新志士遺墨展覧会」

○小展示「植物学者・牧野富太郎」

※会期中、2月に展示資料を入れ替えます

〈年末年始休館〉
12月29日(日)～1月3日(金)

広告

あなたらしい生活を応援します♡ 株式会社 ケアセンターさかわ

- 居宅介護支援(ケアマネジャー)
管理者:徳弘 和義 主任:尾崎 俊一郎
山下 美智、豊田 薫、岡林 眞理
梅原 艶、中平 綾、岡林 利美
- 訪問介護・訪問入浴介護(ホームヘルパー)
管理者:山本 君子 主任:片岡 佐与
他 ホームヘルパー 26名



ご相談ください。
0889-22-0622

ケアセンターさかわ総勢36名で丁寧な対応を心がけ、皆さんの生活を支援させていただきます。介護の不安等ある方はご相談ください。